

【大台町】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	大台町
担当課名	大台町教育委員会 教育課
電話番号	0598-82-3791
メールアドレス	odai-kyo@odaitown.jp

1. 自治体の基本情報

基本情報

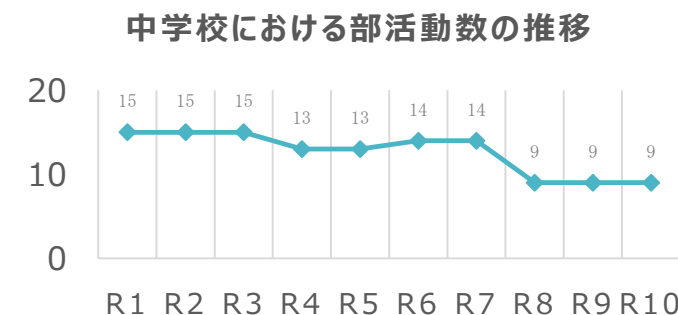
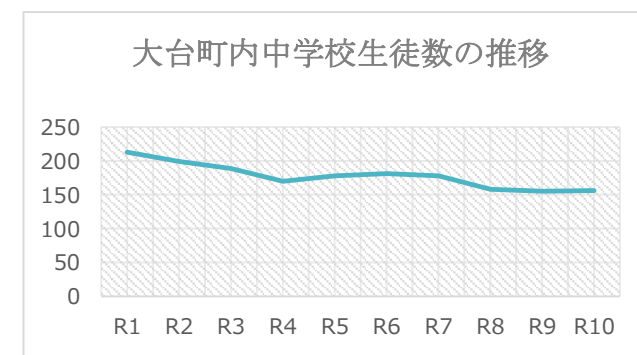
人口	8,463人	部活動数	9部活
公立中学校数	2校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置予定あり
公立中学校生徒数	178人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

大台町内には2つの中学校があり、それぞれ144名、34名の生徒数である。年々生徒数が減少傾向である中学校で部活動を存続していくのは困難であり、廃止となる部活動も少なくない。大台町部活動地域移行推進協議会を設置し、現在、実施している実証事業を行い、課題、問題点を洗い出しながら、他の種目の地域移行についても検討していく必要がある。

部活動では、専門以外の種目を担当することもあるが、地域移行することにより、質の高い専門的な指導を受けることができる。さらに、質の向上、危機管理、ハラスメント対応への対応のため、競技団体等が主催する研修会に積極的な参加を推進する必要がある。

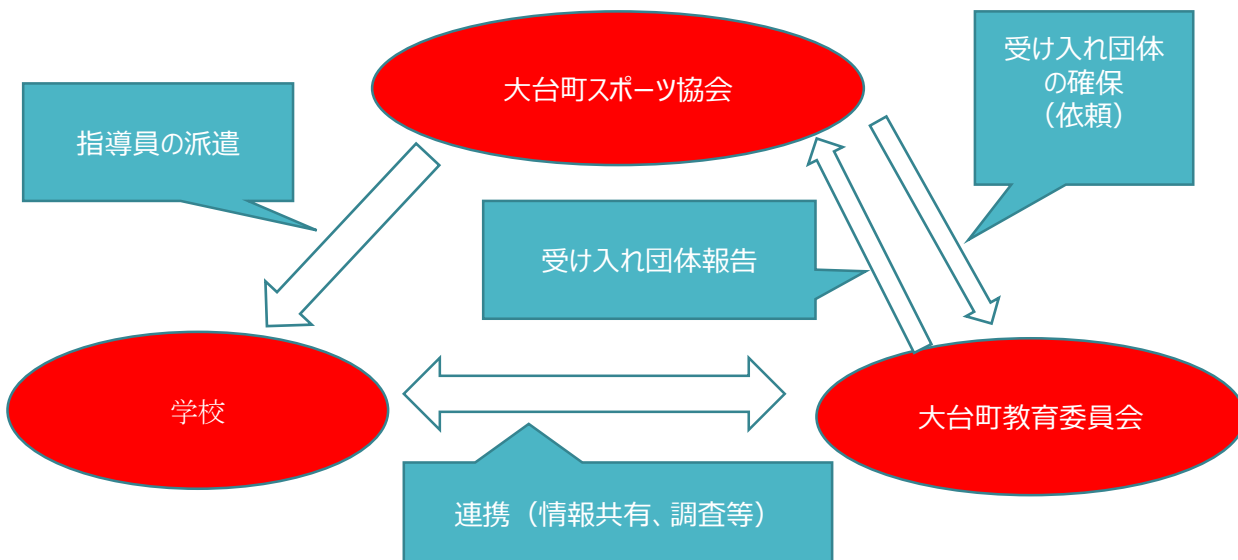
部活動と比較すると、地域移行の取組の方が保護者の負担が増える。そのため、町として、財政面での支援が必要である。



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（教育課 学校教育係）

中学校部活動との調整
中学校との調整
保護者へのアンケートの実施

- **教育委員会**（教育課 社会体育係）

大台町部活動地域移行推進協議会の開催
各種スポーツ団体との調整
財源の確保

年間の事業スケジュール

- 令和5年 4月 拠点校（大台中学校）における実施準備（ソフトテニス）
地域スポーツクラブ活動の開始（ソフトテニス）
- 令和5年 5月 大台町スポーツ協会での協議
教職員への意見聴取
- 令和5年 7月 地域スポーツクラブ活動指導者への聞き取り
- 令和5年 12月 地域スポーツクラブ活動指導者への聞き取り
大台町スポーツ協会での協議
- 令和6年 2月 地域スポーツクラブ活動指導者への聞き取り
事業完了報告書、成果報告書等の作成

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

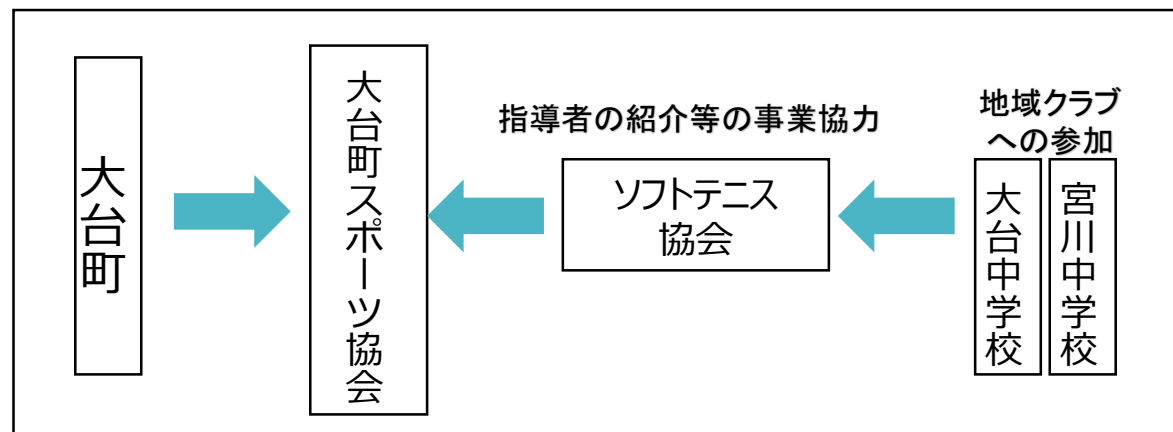
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	ソフトテニス
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	1部活		

主な取組例 ※注1

▼活動概要

拠点校名	大台中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営主体名	大台町ソフトテニス協会
運営類型 ※注2	地域スポーツ団体等運営型 (体育・スポーツ協会運営型)
1か月あたりの平均的な活動回数	ソフトテニス：月6回程度
指導者の主な属性	元教員（ソフトテニス部顧問）
活動場所	大台中学校テニスコート
主な移動手段	保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額） ※注3	ソフトテニス：1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

指導員と学校顧問等と連携を密にとり、部活動を安全かつ計画的に実施できるよう発生した課題の把握・対応をし、持続可能な体制整備づくりを行う。

大台町部活動地域移行推進協議会を設置し、町スポーツ協会、町スポーツ少年団、スポーツ推進員、他市町関係団体との連絡調整、指導助言を行う。

取組の成果

大台町教育委員会、大台中学校、部活動指導員が密に連携をとり、常日頃から取組内容について情報共有を図った。指導員が平日は大台中学校のスクール・サポート・スタッフとして勤務していることもあり、関係者との連絡調整体制が整っている。

特に工夫した事項

指導者が平日は大台中学校のスクール・サポート・スタッフとして勤務をしていることもあり、中学校の部活動への参加する機会があり、学校部活動と地域部活動の連携がスムーズに取れた。

今後の課題と対応方針

地域移行する際の指導者不足を解消するため、大台町部活動地域移行推進協議会を設置し、各種スポーツ団体と人材の確保を行う。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等



取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等の資格の取得を推進する。
町スポーツ協会等との連携を強化し、人材の確保に努める。

取組の 成果

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得のための働きかけを行った。また、三重県スポーツ協会等が主催する研修会等に情報提供を行ったが、参加には至らなかった。
町内で指導者を増やすことにより、大台町スポーツ協会主催の研修会を実施するなどの工夫をし、より質の高い指導ができるように研修に参加しやすい環境を作っていきたい。

今後の 課題と 対応方針

指導者資格の取得にかかる経費は、受益者負担となっており、財政面での支援が必要と考える。
指導者の高齢化などにより指導者の確保が必要となる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：**関係団体・分野との連携強化**
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等



取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

町スポーツ協会、町スポーツ少年団、スポーツ推進員及び行政で組織する大台町部活動地域推進協議会を設置し、連携の強化を図る。

取組の 成果

大台町スポーツ協会には、町スポーツ少年団、スポーツ推進員も所属しており、これまで同様に連携強化を図った。部活動地域移行については、スポーツ少年団で育成した選手が中学校に進学したらどうなっていくか不安の声もあり、関係団体への情報提供も含め、地域移行へのイメージを持ってもらえる取組が必要と感じた。

今後の 課題と 対応方針

現在、それぞれの団体が集まる場はあるが、部活動地域移行に特化した集まりの場がないのが現状である。部活動推進協議会を設置し、学校、各種団体、行政との連携をさらに密にしていく必要がある。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等



取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

生徒の減少により、団体競技ではチームが成立しないことも想定される。地域移行することにより、学校の枠を超えた活動ができ、生徒も確保しやすくなる。

取組の成果

大台町ソフトテニス協会には、大台中学校だけでなく、同じ町内にある宮川中学校の生徒も参加しており、町内全域の取組として実施することができた。

地域移行していないスポーツについては、スポーツ少年団の活動を通じて、町内のみの活動ではなく、広域的な活動となっている。

今後の課題と対応方針

生徒の減少により、2年後に4つの部活動が廃止となる。廃止後、地域移行をした場合でも団体競技ではチームを存続するのは困難であり、広域的な取組を進める場を作る必要がある。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保を行うため、なるべく多くの種目が地域移行できるように検討していく。

取組の 成果

現在は、ソフトテニスだけの地域移行ではあるが、他のスポーツ競技からも地域移行への相談があった。大台中学校では、部活動の廃止が決定している競技もあり、保護者等と協議を行った。さらに、保護者や関係者の不安をなくすためにも、どういう活動になっていくかの方針を決め、スポーツに親しむ機会の確保に努めていく必要性を感じた。

今後の 課題と 対応方針

部活動にない種目についても関係者と協議をし、地域移行を検討していく必要がある。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等



取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

保護者への負担が大きくなるため、大台町部活動地域移行推進協議会内で補助金等の財源を検討していく。

取組の成果

大台中学校の部活動が行われる時は、スクールバスを活用し、地域部活動に参加することができ、保護者の負担軽減を図った。現在は、ソフトテニスだけの地域移行であるが、競技により、費用の負担が変わってくるので、検討の必要性を感じた。部活動と比較すると参加者の費用負担が増えることも想定されることから、自治体としての支援方法の示していく必要性を感じた。

特に工夫した事項

自宅から活動拠点である大台中学校までの距離が20kmを超える生徒もいる。大台町では、学校の通学スクールバスを活用しており、他の部活動がある場合は、スクールバスの使用も認めている。

今後の課題と対応方針

活動に対して費用負担軽減は行っていない。地域移行がスムーズに進むためにも補助金の創設など自治体が支援できる体制を検討する必要がある。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：**学校施設の活用等**



取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

学校の施設・設備・備品等を使用する。また、町体育施設を使用する際は、減免とし、財政面での負担軽減を図る。

取組の 成果

大台中学校テニスコートを活用し、地域部活動を実施することができた。また、雨天時には、町内体育施設を利用した。町内体育施設の使用にあたっては、使用料を減免し、財政面の負担軽減を図った。

特に 工夫した 事項

地域内で施設の利用を競合することもなく、スムーズに活動を行うことができた。

今後の 課題と 対応方針

学校施設の利用については、大きな課題もなく、引き続き、活動がスムーズにできるよう連携を密にしていく。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

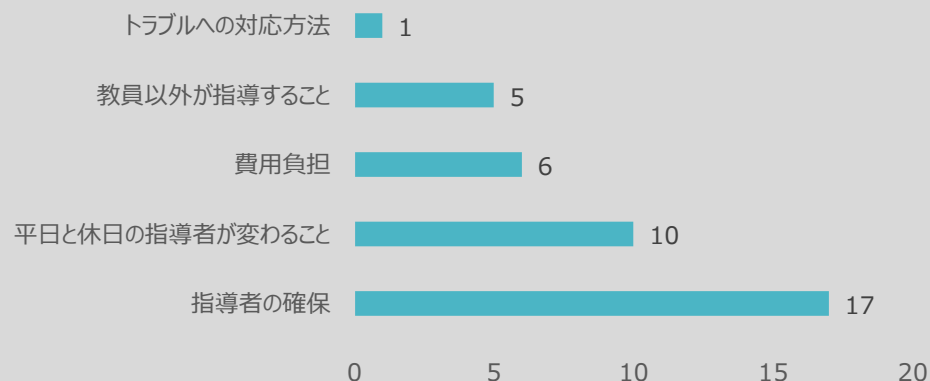
地域移行に向け、指導者に心当たりはありますか。



現在、部活動を顧問している教職員に対し、今後、地域移行していくための人材についての調査を実施した。現状として、地域クラブで活動しているソフトテニス以外の部活動では、外部人材に心当たりがない状況であった。

【教職員へのアンケート結果】

休日の部活動を地域移行する際の課題は何ですか。



全ての教職員から、「指導者の確保」が課題ということがわかった。また、平日と休日の指導者が変わることによる生徒への混乱が心配されることも課題である。大台町スポーツ協会、既存団体等との連携強化が必要。

【教職員へのアンケート】

2. 実証内容と成果

参考資料 (活動写真)



【個々に応じた基礎指導】



【大会引率の様子】



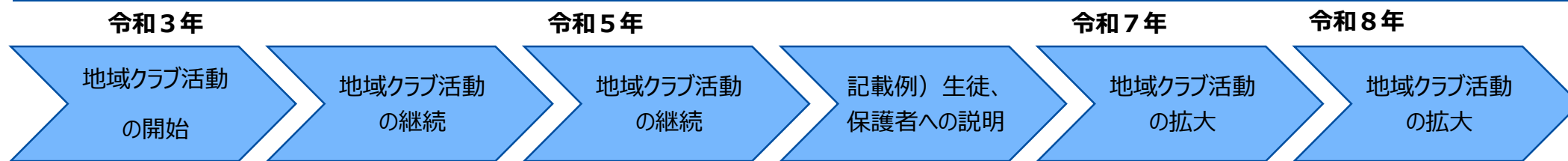
【個別指導の様子】



【全体指導の様子】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



- スポーツ協会との調整
- 学校との調整
- 指導者の確保

● 経過

地域移行前から大台町ソフトテニス協会では、小学生、中学生を対象としたソフトテニス活動を実施。地域移行実施にあたり、学校とソフトテニス協会が協議をし、地域移行実施に至った。

● 実施にあたって生じた課題

既存の組織があり、大きなトラブル、課題もなく、スムーズに地域移行の実施となった。

● 実施内容

拠点施設である大台中学校テニスコートでの基礎練習、応用練習。対外試合の実施。対外試合を通じて、個々の課題を洗い出し、課題克服に向けて活動を実施。

- 地域運動部活動推進協議会の設置
- 地域移行拡大に向けて、スポーツ協会等での情報共有
- 地域移行に向けての課題の洗い出し
- 指導者の確保及び質の向上

● 取組内容

ソフトテニスについては、基盤があり、スムーズに移行できたが、基盤のない競技について、地域移行を進めるための協議を進めていく。

- 地域運動部活動推進協議会の開催
- 地域移行拡大に向けて、スポーツ協会等での情報共有
- 地域移行に向けての課題の洗い出し
- 指導者の確保及び質の向上

● 取組内容

中学校で部活動が4クラブ廃止となる。地域移行の必要性も含めて、協議を進める。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

大台町教育委員会 部活動改革スケジュール(案)

	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	R8
大台町教育委員会 (社会体育係)	休日の部活動の地域クラブへ移行(実証事業)			ソフトテニス		運動部活動の地域移行
					部活動地域移行推進協議会設置	
大台町教育委員会 (学校教育係)	平日の部活動は現状どおり継続し、令和7年度以降の部活動の地域クラブへの移行を検討					
				教員への説明 保護者への周知 指導者の確保		
			生徒の減少に伴い、段階的に部活動を廃止する。 (軟式野球、バレーボール、剣道、卓球)			
			※ 外部指導者の活用			